

## No. 2185

### カヤトと明るい尾根歩き 大倉高丸～大谷ケ丸

実施日 平成17年5月14日(土)晴・曇  
リーダー 涌井 良明  
参加者 上野キヨ、斎恵美子、飯島義江、  
若村勝昭、古川美恵子、小野節子、  
一柳 昭、小池述史、岩井康子、  
村上佐知子 計11名

コースタイム IR 高尾駅(7:10～7:25 小淵沢行)甲斐大和駅(8:36～8:40 タクシー)湯ノ沢峠(9:15～9:26)大蔵高丸(10:02～10:13)破魔射場丸(10:44～10:55)米背負峠(11:42 昼食 12:11)大谷ケ丸(12:42～12:50)コンドウ丸(13:25～13:35)曲沢峠(13:52～14:03)下山道分岐(14:11)景德院(15:05～15:13 パス)甲斐大和駅(15:20～15:30/15:37)

費用 交通費 新宿 大月(ホリデーパス) 2,300円 大月 甲斐大和(往復) 640円 タクシー1,470円  
合計 ￥4,410

前日まで天候が気懸りだったが甲府神話期待で決行、一人もキャンセルされず参加したくれた皆さんにまず感謝です。タクシー3台で湯ノ沢峠を目指す、その昔夜中にトラツグミの鳴き声に怯えて歩いた林道もりっぱなアスファルト道になっている。それでも湯ノ沢峠の登山道入り口を過ぎる



ところから、林道らしい悪路であった。峠直下の広場は10台位の駐車は可能です。すぐ脇に避難小屋があり、

水場も近く有効に使えるような小屋だ。

林道終点からほんの僅かで湯ノ沢峠、左は小金沢縦走路、右が今日迎える南大菩薩道である、きつい登りもなく30分程で大蔵高丸に着く、何度来ても明るい気分のよい山頂である。

予想通り東側は雲が多いが、青空も望めまあまあの天候である。ゆるく下り、平坦な道を快適に歩く、この辺りの標高では木々の芽吹きも始まったばかりである。

自然が創り出す絶妙な絵画のような風情を楽しみながら破魔射場丸へ、山頂で人知れず咲く山桜が迎えてくれた。この先は更に桜が多く丁度満開でまさにお花見気分、下って着いたところが木々に囲まれた静かな米背負峠ここで大谷ケ丸の登りの前に昼食にする。



止まると風は冷たいが新緑で気分は爽快。皆の元気にせかされて? 食休みもそこそこに大谷ケ丸の登りにかかる、本日最大の

登りもあっけなく終わり大谷ケ丸へ、証拠写真を撮った後、背後に元気な話声を感じながら快調に進む、殆ど登りも感じずに今日最後のピーク、コンドウ丸へ。ここからはほぼ下り道である。

標高も下がり、新緑も深くなるが自然林の美しさは本当に好ましいものである。

曲沢峠で一息入れ、尾根を巻き気味に10分程進んだ下山路分岐から右へ景德院に向かって下る。

山行のフィナーレを飾るに相応しく、陽に映え、萌える緑のトンネルに飛び込む感覚で、更にヤマツツジの朱色が絶妙なコントラストを醸し出す幻想的な気分さえ感じる素晴らしい路でした。



右手に今日歩いてきた山を望みながら、その日、その時そこに居なければ味わうことの出来ない幸福感を感じながら歩く。3時過ぎ、景德院に無事下山、タイミングよくバスを掴まえて甲斐大和駅へ、上り組みは15:30発で、下りの古川さんは15:37発で帰途に着く。

楽しかったねえ!! \ (^o^ ) /